

サクラ・はうす

No.246
2026.6.22

梅雨の季節子どもたちは毎日汗びっしょりで帰ってきます
エアコンの入った室内に入ると「わあーすずしーい」と一息??

快適な室内で学習や室内遊びも思いっきり取り組む姿が見られます

外遊びでは櫓の木陰が

涼しいです



田植えをしたよ



田植え前日には、田植えの練習をしました

6月9日(火)ちょっと曇っていましたが、雨が上がり予定通り「田植え」を行いました。

昨年経験している子どもたちはワクワクが止まらない姿が見られ「早くやりたい」と声も聞かれました

1年生はドキドキワクワクで田植えの順番を待っていました



お知らせ

※お知らせのみルビを入れてあります

◎予定表・7月1日～7月17日までの予定表は6月30日までに提出

7月21日～8月31日まで(8月7日～8月16日まで休所)の予定表は
7月10日までに(厳守)で提出をよろしくお願いいたします

◎運営委員会・小学校の校長先生をはじめ地域の代表の方に出席していただき
ご意見などを頂きました。日々の見守りに感謝です。

◎緊急時の連絡・別紙でご連絡しましたように緊急時の連絡を一斉配信できる
連絡網を導入しますので手続きなどご協力ください

コラム「泥場」

サクラはうすの庭に「泥場」があります。畳一畳より少し広い場所を囲み泥が入れてあります。周りには、鍋やフライパン、ざる、お玉にお椀。子どもたちは庭に咲く木々の花や実を入れて、おいしいご馳走をよく作ります。もちろん泥団子も。

低学年には大人気。ですが時々、中・高学年の子までも一緒に、お料理におよばれたのでしょうか?いえ穴を掘ってトンネル作りを始めたようです。

アメリカの作家・牧師であるロバート・フルガムの著書であり、その有名な言葉。

「人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ」――私も何度も読みました。

分かち合う・順番を守る・人を傷つけたら謝る・協力する・そんなことを砂場は教えてくれると。サクラはうすの砂場、いえ泥場でも●家族ごっこの世界、シェフの世界、お店屋さんの世界、山を貫通する鉄道の世界●交流する子供の思いが広がる中で
たくさんの学びがあるのでしょう。

令和8年6月14日 重田久美子